

海外出張者／勤務者の医療リスク

医師・管理者として知っておくべきこと



(株)GMSSヒューマンラボ

代表取締役 安藤裕一

yuichi.ando@gmss.jp

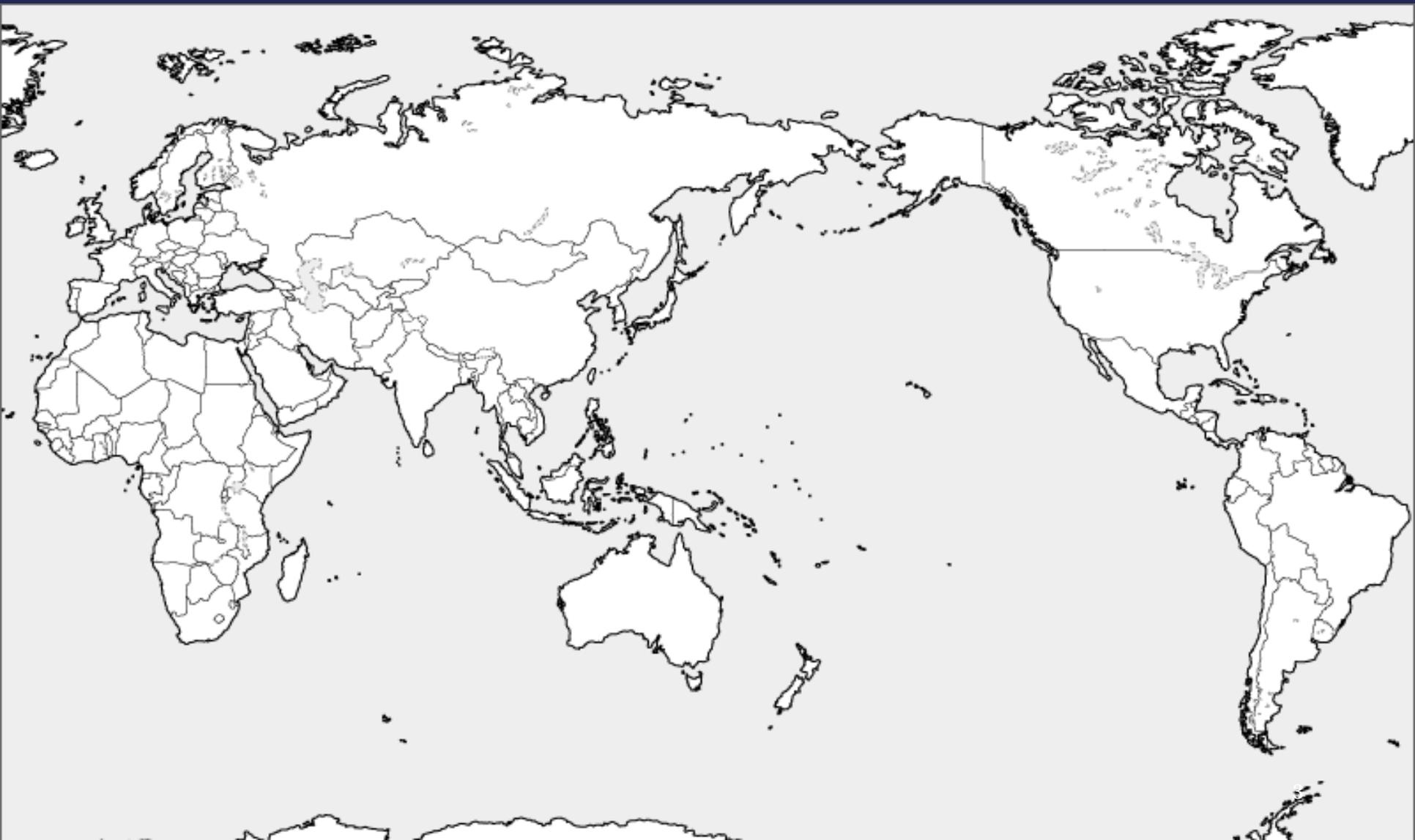
日本国際保健医療学会 COI開示

所属：(株)GMSSヒューマンラボ
名前：安藤裕一

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等は次です。

- ① 役員職： (株)GMSSヒューマンラボ
- ② 株保有・利益： (株)GMSSヒューマンラボ
- ⑨ 旅費： (株)GMSSヒューマンラボ

世界の国々



略歴

- 筑波大学医学専門学群卒業
- 三井記念病院(外科)
- 米国(ボストン MGH)
- 東京大学医科学研究所
- 豪州(プリンセスアレキサンドラホスピタル)
- 国境なき医師団(コートジボアール、大阪他)
- インターナショナルSOS(アシスタンス会社)
- 2015年12月(株)GMSSヒューマンラボを設立



グローバルイゼーション



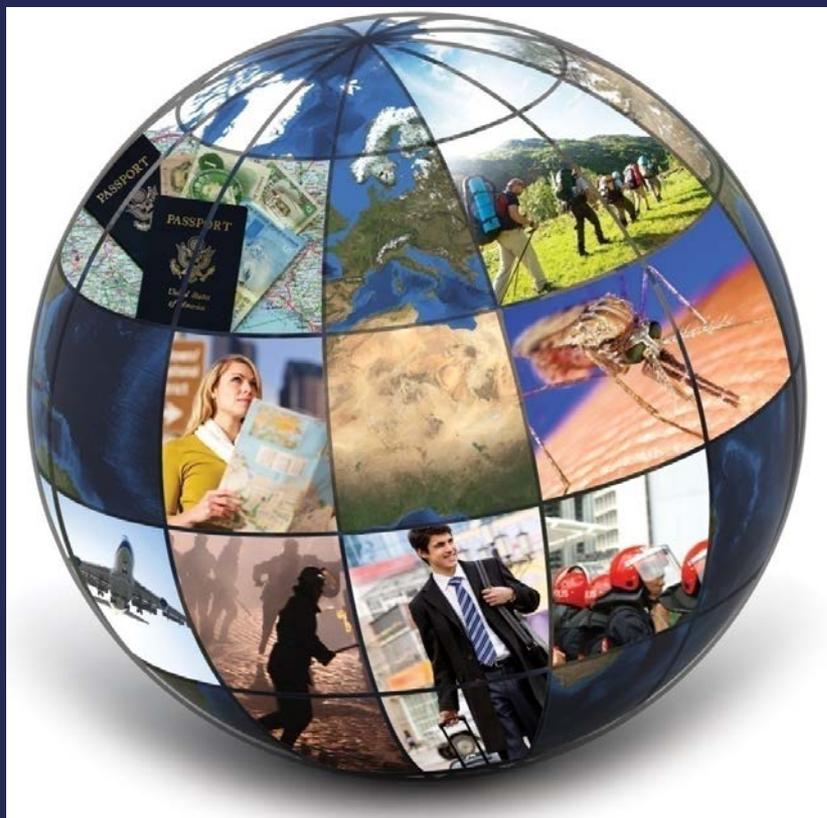
海外渡航・駐在時における様々なリスク

目の前の患者／社員が駐在・出張する国には
どんな健康上のリスクがあると思いますか？



渡航者を脅かす数々のリスク

疾病



地震

暴動

クーデター

テロ

誘拐

大規模渋滞

戦争勃発

警察官の汚職

民衆蜂起

ハイジャック

食あたり

悪天候

火山の噴火

銃器犯罪

ひったくり

航空機遅延

不当拘留

飛行機事故

言語と文化の壁

強盗

自動車事故

入国手続きの煩雑さ

通信手段断絶

こんな先入観を持っていませんか

- ICUがある病院なら、日本の二次救急病院以上の医療が期待できる
- 私立より公立病院の方が高度医療である
- 救急車を呼べば、トレーニングを受けた救急隊が10-20分以内にかける
- 院内の薬局で購入した薬は信用できる

ケース1

55歳 日本人男性 商社勤務

中国の杭州*に6週間の長期出張
予定 (*上海から180km)

既往歴: 高血圧、糖尿病 内服中

ケース1

55歳 日本人男性 商社勤務

中国の杭州*に6週間の長期出張予定
(*上海から180km)

既往歴: 高血圧、糖尿病 内服中

主治医の対応:

出張が延びるかもしれませんから
8週間分薬を出しておきましょう

ケース2

35歳 日本人男性 メーカー勤務

工場の立ち上げのため

2018年7月20日よりベトナムに赴任

生来健康

家族： 妻（2018年10月に出産予定）

長男（4歳）

ケース2

35歳 日本人男性 メーカー勤務

工場の立ち上げのため

2018年7月20日よりベトナムに赴任

生来健康

家族： 妻（2018年10月に出産予定）

長男（4歳）

産業医のアドバイス：

夫婦共若くて健康なので心配ないです。

予防接種は受けていってくださいね。

安心して受診できる病院があるか？



Yes !





渡航先で安心して病気になれる？



今まで無事だったからといって高を括っていませんか？

あなたは運がよかっただけかもしれませ。

日本の常識は海外で通用しない！

- 言語、文化の相違
- 言葉が通じるか不安
- 習慣の違い
- 衛生観念の違い



ケース3 ホーチミン滞在邦人旅行者

34歳 日本人旅行者

主訴:発熱、倦怠感

体温 39°C、血圧 110/70mmHg、脈拍 84/分、
呼吸数 18回/分、血小板数 81,000/mm³、
デング熱IgM抗体陽性 デング熱と診断され入院。

第3病日 血小板数が24,000/mm³まで低下

ベトナムで輸血は安全？

止血処置(内視鏡など)は大丈夫？

同夜医師が付き添いバンコクへ定期便で移動
転院後出血は認めず、解熱し、倦怠感も軽減

第6病日 血小板数115,000/mm³まで回復、退院

ケース4 インド滞在邦人旅行者

26歳女性 インドに長期旅行中、発熱、下痢、倦怠感のため入院。デング熱と診断

3日目に血小板数が6万/mm³に低下

→出血の危険など症状の進行が懸念され、シンガポールへの移動を勧めた。

担当医にデング熱で血小板が下がることは珍しくないと言われ、そのまま現地に入院

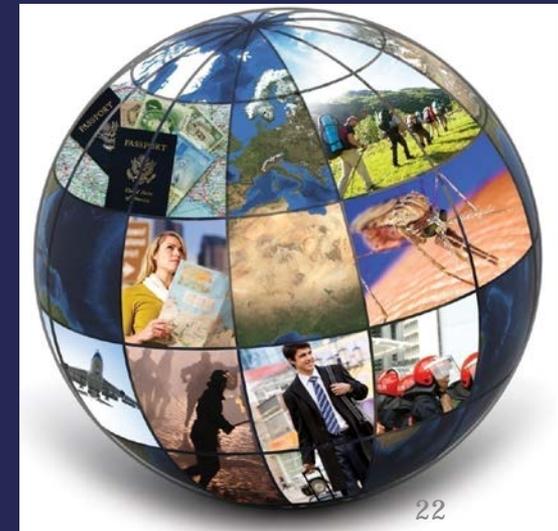
6日目 血小板数が4万/mm³。

肝機能障害、腎機能障害を合併し重症化

7日目 帰国を決意し、医療専用機で日本に帰国
入院先で熱帯熱マラリアを合併していたことが判明

アドバイスするには知っておきたい

1. 現地で流行している病気とその予防法
2. 治療中の疾患や既往症への配慮
3. 気候や生活様式の変化が体調に与える影響
4. 医療費
5. 医療搬送
6. セキュリティ対策



現地の情報を入手

【渡航先の情報一般】

外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>

【世界の医療情報 感染症発生情報】

外務省 世界の医療事情

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

厚生労働省検疫所

<https://www.forth.go.jp/topics/fragment1.html>

国立感染症研究所 感染情報センター

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>



世界の医療事情

中国（北京）

平成28年11月



4 衛生・医療事情一般

中国は国土が広いので、気候も様々ですが、北京では、夏は気温40℃を越す日もあり、冬は零下10度を下回ることもあります。冬期は雨が少なく、乾燥が著しい気候です。そのため、脱水や皮膚のトラブル、上気道感染などを起こしやすく、空調・加湿器等を使用した湿度や湿度の調整が不可欠と言えます。

全国的に大気汚染が深刻で、特に北京では風邪を引いた後に咳・痰が治まらない、喉の痛み、目のかゆみといった症状を訴える人が増加傾向にあります。また、季節によっては大量の黄砂や柳絮と呼ばれる綿毛のような樹木の種子も飛来するため、呼吸器症状やアレルギーが出やすいようです。

北京市内の水道水は、水質検査の結果では飲水可能と発表されていますが、硬水のため下痢症状を起こし得ることや、個々の水道管・貯水タンクが

4 衛生・医療事情一般

中国は国土が広いので、気候も様々ですが、北京では、夏は気温40℃を越す日もあり、冬は零下10度を下回ることもあります。冬期は雨が少なく、乾燥が著しい気候です。そのため、脱水や皮膚のトラブル、上気道感染などを起こしやすく、空調・加湿器等を使用した湿度や湿度の調整が不可欠と言えます。

全国的に大気汚染が深刻で、特に北京では風邪を引いた後に咳・痰が治まらない、喉の痛み、目のかゆみといった症状を訴える人が増加傾向にあります。また、季節によっては大量の黄砂や柳絮と呼ばれる綿毛のような樹木の種子も飛来するため、呼吸器症状やアレルギーが出やすいようです。

北京市内の水道水は、水質検査の結果では飲水可能と発表されていますが、硬水のため下痢症状を起こし得ることや、個々の水道管・貯水タンクからの汚染の可能性を考慮しますと、ミネラルウォーターの使用を原則とし、止むを得ず水道水を使用する場合は煮沸してから飲料水として使用することを勧めます。食器や野菜・果物等の洗浄、調理用、洗面、歯磨き、うがい、洗濯等に水道水を使用するのは問題ありませんが、ホテルやアパートの水道設備の状態によっては、衣類が洗濯によって次第に着色することもあるようです。

食品については、生鮮品、加工品を問わず、依然としてある程度の不安は残りますが、中国の人々にも食の安全への意識が高い人が目立ち始め、添加物等有毒物質対策も次第に強化され、また、有機栽培商品なども多く出回るようになりました。しかし、いずれの商品でも野菜や果物は十分に水洗いし、特に卵は日本では一般的な洗卵処理がされていないことが多いので、これも使用前に十分水洗いし、肉・魚・卵は十分に火を通してください。野菜も生食は避けた方が無難ですが、果物を生食する場合は、自分で皮を剥き（カットフルーツはお勧めしません）、包丁やまな板に付いた汚れが再び付着しないように注意してください。

北京には、外国人専用外来を持つ中国系総合病院や、英語や日本語で先進国と同様の医療が受けられる外資系クリニックがあり、その医療レベルも経済成長と共に進歩していますが、それに伴い医療費も年々高騰しています。外資系医療機関では、日本よりはるかに高額な医療費（緊急入院1日あたり10～20万円、日本への移送数百万～一千万円）を請求されることもしばしばです。ただし、ほとんど全ての医療機関は海外旅行傷害保険が使用できますので、たとえ短期であっても、これらに加入しておくことを強くお勧めします。一方、地方都市では、外資系医療機関はほとんどなく、未だ十分な医療が受けられるとは言えません。特に農村部では、衛生状態も悪く、本来治療の必要がないような比較的軽い病気でも死亡例の報告が見られます。また地方の場合、総じてそれほど医療費が高くない代わりに、保険が使用できる医療機関も少なくなります。

中国系病院を受診する場合、日本と大きく違うところは、一般的には最初に窓口で掛号費と呼ばれる受付料を支払い、診察医を指名（医師のランクにより診察料が異なる）します。この時、カルテ作成料として1～5元（16～80円相当）を別途請求されることもあります。また、入院や検査が予定されている場合は、受付時に保証金を預けなければならないことも多く、この金額はまちまちですが、長期入院が必要と判断されると5万元（80万円相当）程度要求する病院もあります。ただし、これらの現金も、保険に加入していれば必要ない場合もありますので、保険加入時にはキャッシュレスサービスが付加している保険を選ぶ方がより安心と言えるでしょう。

4 衛生・医療事情一般

中国は国土が広いので、気候も様々ですが、北京では、夏は気温40℃を越す日もあり、冬は零下10度を下回ることもあります。冬期は雨が少なく、乾燥が著しい気候です。そのため、脱水や皮膚のトラブル、上気道感染などを起こしやすく、空調・加湿器等を使用した湿度や湿度の調整が不可欠と言えます。

全
国
ま
す。

北
京
の
海
とを
道
設
備

できるだけ日本で出産されることをおすすめします。

食品については、生鮮品、加工品を問わず、依然としてある程度の不安は残りますが、中国の人々にも食の安全への意識が高い人が目立ち始め、添加物等有毒物質対策も次第に強化され、また、有機栽培商品なども多く見られるようになりました。しかし、いずれの商品でも野菜や果物は十分に水洗いし、特に卵は日本では一般的な洗卵処理がされていないことが多いので、卵も使用前に十分水洗いし、肉・魚・卵は十分に火を通してください。野菜も生食は避けた方が無難ですが、果物を生食する場合は、自分でカットフルーツはお勧めしません）、包丁やまな板に付いた汚れが再び付着しないように注意してください。

北京には、外国人専用外来を持つ中国系総合病院や、英語や日本語で先進国と同様の医療が受けられる外資系クリニックがあり、その医療レベルも

経
済
成
り
10
ま
す
の
医
療
が
た
地
方

中国で出産することはおすすめしません。

中国系病院を受診する場合、日本と大きく違ってくるのは、一般的には最初に窓口で処方費と検査料を支払い、診察医を指名（医師のランクにより診察料が異なる）します。この時、カルテ作成料として1～5元（16～80円相当）を別途請求されることもあります。また、入院や検査が予定されている場合は、受付時に保証金を預けなければならないことも多く、この金額はまちまちですが、長期入院が必要と判断されると5万元（80万円相当）程度要求する病院もあります。ただし、これらの現金も、保険に加入していれば必要ない場合もありますので、保険加入時にはキャッシュレスサービスが付加している保険を選ぶ方がより安心と言えるでしょう。

出産については、できるだけ日本で出産されることをおすすめします。北京市内の外資系病院では安全な出産も可能ですが、それでも当地の慣習や医

トラベルクリニックの役割

- 渡航先の医療事情など情報提供
- 渡航スタイルに合わせて予防接種を含めたアドバイスの提供
- 診断書（英文ほか）
- 予防接種や抗マラリア薬などの処方
- 帰国後の体調管理
- 海外の医療機関の紹介

現地視察のチャンスがあったら

- 事前にアポをとっていくと、病院側が準備
⇒ **実情が見られないことがある**
- ハードウェアや外観は良さそうだが、、、

現地視察のチャンスがあったら

- 事前にアポをとっていくと、病院側が準備
⇒ **実情が見られないことがある**
- ハードウェアや外観は良さそうだが、、

- 看護師に患者の状態を聞いてみる
- 各種の記録を見せてもらう
 - 患者の記録(温度板など)
 - 献血用血液の記録
 - ワクチンの冷蔵庫の温度管理簿

図々しくなって良い

症例4 北京滞在邦人出張者

- 50歳 日本人男性駐在員 胸痛のため入院
- 3日目 スタンフォードA型解離性動脈瘤と診断
主治医は 2週間後に手術する方針を決定
まずはICUにて保存的に加療。
- 5日目 心停止をおこし死亡。
- 病院側から遺族への説明なし





8-year-old boy with
ruptured appendix, being
carried **12 hours and 25 km**
in this chair to local airport
for evacuation to
Kathmandu.

Canadian Journal of emergency medicine

医療アシスタンス 医療搬送の流れ

渡航者

雇用/
購入

会員企業/
保険会社

受診入院

病院

転院手配

医療搬送

病院

1

2

4

3

アシスタンス会社
(コールセンター)

5

搬送の手配

患者への説明と同意
航空機、救急車の手配
搬送医療チームの手配
受け入れ病院の手配

商業定期便による一般的な医療搬送例



52歳日本人男性駐在員 ヨハネスブルグ → 東京

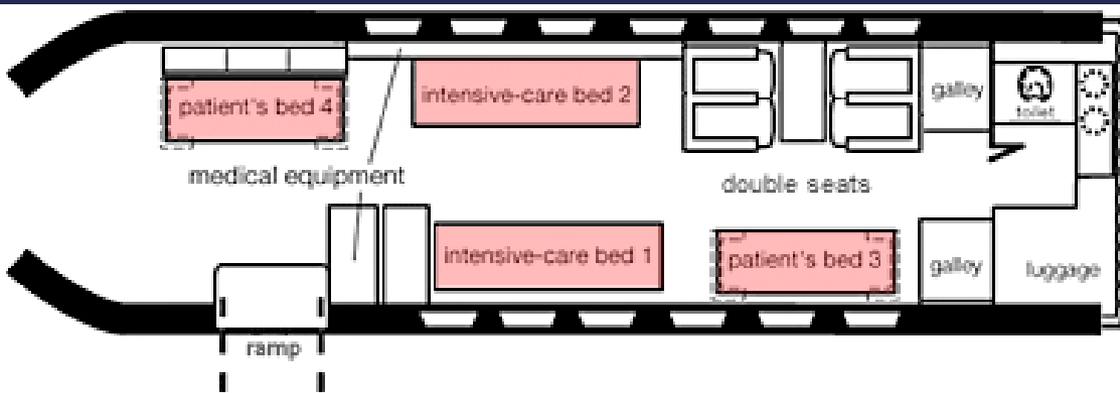


医療専用機による搬送例





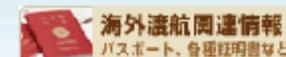
Challenger CL-604



Patient Transport Compartment

Lufthansa





文字サイズを変更 [あ](#) [あ](#) [あ](#) [モバイル版](#) [日本語環境でないPCの場合](#)

キーワード検索

検索

使い方

海外安全情報

海外安全情報の検索

トピックス・重要なお知らせ

海外安全お役立ち情報

問い合わせ先

[トップページ](#) > 「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」

「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」

「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」
毎週金曜日 動画版を配信中！



LINE公式アカウント「外務省」で検索

ケース1

55歳 日本人男性 商社勤務

中国の杭州*に6週間の長期出張予定
(*上海から180km)

既往歴: 高血圧、糖尿病 内服中

気にしてほしいこと:

予防接種は?

疾患が悪化する可能性は?

合併症が発生したらどうなる?

ケース2

35歳 日本人男性 メーカー勤務

現地工場の立ち上げのため
2018年7月20日よりベトナムに赴任
生来健康
家族： 妻(2018年10月に出産予定)
長男(4歳)

気にしてほしいこと:

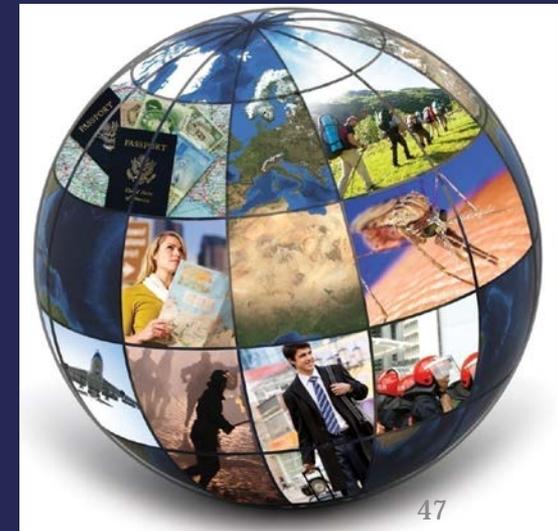
予防接種は？

現地の衛生状態は？

信頼できる医療機関がある？

アドバイスするには知っておきたい

1. 現地で流行している病気とその予防法
2. 治療中の疾患や既往症への配慮
3. 気候や生活様式の変化が体調に与える影響
4. 医療費
5. 医療搬送
6. セキュリティ対策



参考となるウェブサイトならびに図書

【渡航先の情報一般】

外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>

【世界の医療情報 感染症発生情報】

外務省 世界の医療事情 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

厚生労働省検疫所 <https://www.forth.go.jp/topics/fragment1.html>

国立感染症研究所 感染情報センター <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

U.S.A. 疾病管理センター(CDC) <http://www.cdc.gov/travel/>

WHO International travel and health <http://www.who.int/ith/>

WHO Weekly Epidemiological Record <http://www.who.int/wer/en/>

同 日本語訳(神戸大学) <http://wer.ams.kobe-u.ac.jp>

【渡航先別推奨される予防接種】

厚生労働省検疫所 <https://www.forth.go.jp/index.html>

東京医科大学渡航者医療センター <http://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/shinryo/tokou/>

【トラベルクリニック】(英文診断書、予防接種ほか)

日本渡航医学会トラベルクリニックリスト <http://jstah.umin.jp/02travelclinics/index.html>

厚生労働省検疫所 予防接種機関検索 <https://www.forth.go.jp/moreinfo/vaccination.html>

【学会】

日本寄生虫学会 <http://jsp.tm.nagasaki-u.ac.jp>

日本熱帯医学会 <http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/society/jstm/>

日本感染症学会 <http://www.kansensho.or.jp/>

日本登山医学会 <http://www.jsmmed.org/>

国際渡航医学会ISTM <http://www.istm.org/>



The Art of Travel and Global Health

トラベル&グローバルメディスン

渡航前から帰国後・インバウンドまで

1版

THE KING CLINIC 近 利雄 編集

関西医科大学 三島伸介 編集

定価：5,616円（本体5,200円＋税8%）

- B5判 306頁
- 2017年9月 発行
- ISBN978-4-525-23381-5



ここまで安全なのは日本だけ
海外では日本にない危険が！



ご清聴ありがとうございました！



ヘルスサービス開発研究センター

GMSS

Institute of Global Medical and Sports Science Japan

株式会社GMSSヒューマンラボ